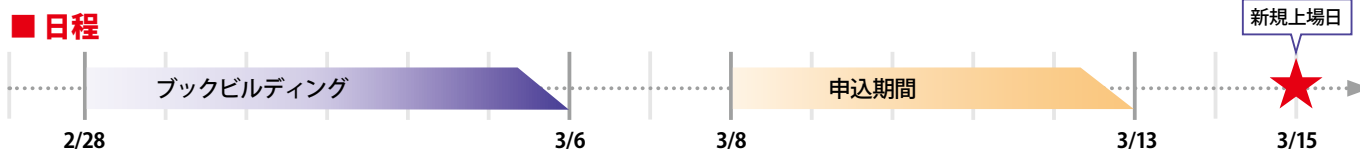


## IPO銘柄 鴻池運輸 (9025・東証上場部未定)

| コード  | 投資単位 | 公開株式数                                 | 仮条件 (上限 PER)          | 主幹証券 |
|------|------|---------------------------------------|-----------------------|------|
| 9025 | 100株 | 公募: 255万株<br>売出: 342.57万株 (OA89.63万株) | 980円~1,020円<br>(7.3倍) | 大和証券 |



### 生産工程、流通工程などの業務請負を行う複合ソリューション事業が主力

#### ■ 事業内容

生産工程、流通工程など多分野にわたる業務請負を行う複合ソリューション事業が主力。鉄鋼、非鉄・金属、ガス、化学など素材産業から、食品、日用品などの消費産業、航空産業、医療産業など幅広い業種を顧客企業として抱える。主力の複合ソリューションでは製造請負などの生産工程領域、製品入庫や流通加工などの流通工程領域、医療機器洗浄や産業廃棄物の収集運搬などのその他専門工程などがある。13年3月期3Q累計の売上高構成比は複合ソリューションが68.1%、国内物流が19.8%、国際物流が12.2%。

#### ■ 特徴

明治4年創業の鴻池組（現鳳ホールディングス）が同13年に開始した運輸業が発祥。昭和20年にその運輸事業を継承して法人として設立された。売上高構成比は縮小しているが、現在国内物流では国内に保有する冷凍・冷蔵倉庫を拠点とした定温物流、ドライ倉庫を拠点とした一般物流を実施。国際物流では米国をはじめ、中国やベトナム、タイ、インドなどに拠点を有し、海上貨物、航空貨物の取扱業務や倉庫業務などを実施。生鮮食品から最先端の精密部品まで幅広くカバーしている。

### アナリストコメント

#### ■ 定量分析

13年3月期の連結経常利益は前期比7.7%減の70億8,400万円を計画する。複合ソリューションでは鉄鋼業界向けの苦戦などから停滞するほか、国内物流では電気料金の値上げが打撃。事業環境は厳しいが、景気敏感業種なだけに、今後は業績回復期待が高まっていくとみる。

#### ■ 定性分析

社名の通りの運輸業よりは成長期待はあるものの、IPO（新規上場）マーケットで人気を集めやすい業種ではない。東証1部市場へ上場見込みで、今期業績が減益計画であることもネガティブ。ただ、IPOマーケットの活況展開が強力な支援材料であり、大きな不安はない。

#### ■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は約70億円。東証1部上場見込みの案件としては小ぶりの規模であり、ファンド買い需要を考慮すれば需給面に大きな不安はなさそうだ。ロックアップ条項のないベンチャーキャピタル保有株の存在はネガティブ。（小泉健太）

#### ■ 類似企業

|                          |                      |
|--------------------------|----------------------|
| 鴻池運輸 (9025・東証上場部未定)      | 予想PER7.3倍<br>(仮条件上限) |
| アウトソーシング (2427・東証2部)     | 予想PER8.0倍            |
| UTホールディングス (2146・JASDAQ) | 予想PER15.9倍           |

#### ■ 引受証券

大和証券、SMBC日興証券、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、みずほ証券、SMBCフレンド証券、岡三証券、エース証券

## 業績・財務指標

|              | 売上高<br>(百万円) | 前年比<br>(%) | 経常利益<br>(百万円) | 前年比<br>(%) | 純利益<br>(百万円) | 前年比<br>(%) | EPS<br>(円) | 1株あたり<br>年間配当金(円) |
|--------------|--------------|------------|---------------|------------|--------------|------------|------------|-------------------|
| 11年3月期(実績)   | 211,102      | 5.5        | 5,371         | 10.7       | 402          | ▲68.7      | 16.1       | 8.0               |
| 12年3月期(実績)   | 226,984      | 7.5        | 7,671         | 42.8       | 2,723        | 6.8倍       | 108.9      | 10.0              |
| 13年3月期(会社予想) | 228,029      | 0.5        | 7,084         | ▲7.7       | 3,490        | 28.2       | 138.9      | 15.0              |

|        | 発行済み<br>株式総数(株) | 総資産<br>(百万円) | 純資産<br>(百万円) | 資本金<br>(百万円) | BPS<br>(円) | 自己資本比率<br>(%) | 自己資本当期<br>純利益率(%) |
|--------|-----------------|--------------|--------------|--------------|------------|---------------|-------------------|
| 11年3月期 | 33,229,441      | 15,7024      | 59,514       | 1,688        | 2,324.5    | 37.0          | 0.7               |
| 12年3月期 | 33,229,441      | 162,601      | 62,195       | 1,688        | 2,432.5    | 37.4          | 4.6               |

## 大株主上位 (上場前)

| 氏名または名称      | 所有株式数(株)  | 所有割合(%) |
|--------------|-----------|---------|
| 1 鴻池運輸       | 3,446,300 | 12.11   |
| 2 鴻池運輸従業員持株会 | 3,149,946 | 11.07   |
| 3 鳳コーポレーション  | 3,050,537 | 10.72   |
| 4 江之子島商事     | 2,520,444 | 8.86    |
| 5 新日鐵住金      | 2,451,359 | 8.62    |
| 6 鴻池 忠彦      | 1,882,670 | 6.62    |
| 7 大手町建物      | 1,799,137 | 6.32    |
| 8 鴻池 一季      | 1,741,297 | 6.12    |
| 9 三井住友銀行     | 1,240,011 | 4.36    |
| 10 大阪瓦斯      | 1,124,456 | 3.95    |

## 経営陣

| 役職         | 氏名     |
|------------|--------|
| 代表取締役会長    | 辻 卓史   |
| 代表取締役社長    | 鴻池 忠彦  |
| 代表取締役副社長   | 生越 義廣  |
| 取締役副社長     | 藤原 一見  |
| 取締役兼専務執行役員 | 相井 克己  |
| 取締役兼専務執行役員 | 清水 正義  |
| 取締役兼常務執行役員 | 相羽 和男  |
| 取締役兼常務執行役員 | 水谷 吉紀  |
| 取締役兼執行役員   | 三原 修   |
| 取締役兼執行役員   | 河内 惠二  |
| 取締役兼執行役員   | 藤井 昭夫  |
| 取締役        | 天江 喜七郎 |
| 監査役 (常勤)   | 垣内 義夫  |
| 監査役 (常勤)   | 木寺 徹二  |
| 監査役        | 船橋 晴雄  |
| 監査役        | 木村 直樹  |

# モーニングスターIPOレポートの読み方

## 特 徴

モーニングスター IPO<sup>(※1)</sup> レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング<sup>(※2)</sup> が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

## 項目説明

### ■ 事業内容

新規上場企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

### ■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

### ■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

### ■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

### ■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

### ■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。